

平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 富士電機ホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 伊藤 晴夫
 (コード番号 6504 東証・大証・名証第 1 部・福証)
 問合せ先 経営企画担当ゼネラルマネージャー
 南 浩一
 (TEL 03-5435-7213)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 30 日に公表した業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

① 連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	850,000	10,000	10,000	0	0 円 00 銭
今回発表予想 (B)	760,000	△22,000	△26,000	△70,000	△97 円 94 銭
増減額 (B - A)	△90,000	△32,000	△36,000	△70,000	△97 円 94 銭
増減率 (%)	△10.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	922,172	35,883	35,808	16,792	23 円 49 銭

② 連結部門別売上高・営業利益予想

(単位：億円)

	売 上 高			営 業 利 益		
	前回発表	今回発表	増 減	前回発表	今回発表	増 減
電 機 シ ス テ ム	5,330	4,840	△490	200	85	△115
電 子 デ バ イ ス	1,760	1,380	△380	△130	△320	△190
リテイルシステム	1,460	1,400	△60	25	5	△20
そ の 他	490	490	0	20	20	0
消 去 又 は 全 社	△540	△510	+30	△15	△10	+5
合 計	8,500	7,600	△900	100	△220	△320

2. 業績予想修正の理由

当社グループを取り巻く経済環境は、米国に端を発する金融危機の深刻化による世界的な景気悪化影響を受け一段と厳しさを増しておりますが、とりわけ第 3 四半期から続く市況の低迷長期化による一段の需要の減少により、売上高、利益ともに前回発表値を大幅に下回る見込みです。

電機システム部門は、第 3 四半期よりコンポーネント品の市況悪化が継続し、一段と状況が厳しくなることによる減産影響などを受け売上高、営業利益ともに前回発表値を下回る見込みです。

電子デバイス部門は、設備投資の抑制や顧客の在庫調整が長期化することにより売上高、営業利益ともに大幅に前回発表値を下回る見込みです。

リテイルシステム部門は、市況低迷の影響を受け売上高、営業利益ともに前回発表値を下回る見込みです。

経常利益は、営業外損益において第3四半期以降の急激な円高影響により為替差損が拡大し前回発表値を下回る見込みです。

当期純利益は、特別損失における事業構造改革費用の計上ならびに当社を含む連結納税グループの課税所得の減少に伴う繰延税金資産の取り崩しにより前回発表値を大幅に下回る見込みです。

3. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成20年10月30日発表)	4.00円	未定	未定
今回発表予想		0.00円	4.00円
当期実績	4.00円		
前期(平成20年3月期)実績	4.00円	4.00円	8.00円

4. 配当予想修正の理由

上記のとおり通期の連結業績予想は大幅な赤字となることが予想され、また、当面の市況環境も不透明な要因が多いことを勘案し、誠に遺憾ではありますが期末の配当につきましては見送らせていただく予定です。

【注記事項】

本資料における予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

以上